

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和元年 5月 15日
北信地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	8	課題区分	A		
実施機関	北信地域振興局			担当課	所属 環境課
事業名	きのこ廃培地資源化技術セミナー			電話	8-247-282
				E-mail	hokuchi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	管内において毎日大量に発生するきのこ廃培地について、プラントメーカーや市町村が再生技術や処理計画について報告をする場を設けることで廃培地の資源化技術の普及啓発を図り、もって資源としての再生利用・エネルギー利用を促進する。			
	現状と課題	北信管内では毎日約400tのきのこ廃培地が発生し、それらは農地還元や畜舎での敷料としての利用がされているが、その引き渡し先の確保が課題となっており、一部集積ヤード周辺では悪臭苦情が出ることもある。			
	内容 (変更後の内容)	・対象：農家(15培養センター)、2JA、6市町村ごみ処理部局、下水道部局、農政部局、プラントメーカー10社程度等 ・プレゼン：プラント関係2社及び飯山市の計3者 ・講義：環境課職員による廃棄物処理法その他の環境法令の解説 ・会場：アップルシティ中野			
	事業期間	H30.11 ~			
	成果目標 (成果指標)	・参加者30名以上 ・このセミナーを向こう5年間程度継続し、その間に管内で何らかの廃培地処理に係る事業計画が立ち上がることを目指す。			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	きのこ廃培地資源化技術セミナー	・関係機関等への広報 ・セミナーの開催(会場借り上げ) ・セミナー後のアンケート、聞き取りによる課題の洗い出し	140,000		
合計			140,000		
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価		
	・きのこ廃培地の資源化の手法等を学ぶセミナーを初めて開催し、農家、JA、市町村の関係者を対象に、資源化業者や行政の取り組みなどを紹介。 [開催日] 11/20(火) [会場] アップルシティなかの(中野市) [参加者] 91名	・メディアに取り上げられるなど、多くの関心を集めることができた。 ・参加者アンケートでは、発表の評価は4前後(5点満点)であった。	● 期待以上 ○ 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下		
今後の方向性	引き続き、きのこ廃培地の資源化技術の普及啓発を図り、資源としての再生利用・エネルギー利用を促進していく。				